

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	経営学部	国際経営学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	国立台湾大学 (台湾)		
所属プログラム・ 学部・研究科	2019/2020 University-level Incoming Exchange Program		
報告書提出日	2019年9月30日		
留学予定期間	2019年9月～2020年1月		

## 1. 渡航について

### 1.1. 出発前の準備

出願料・宿舍デポジット： 14800 (TWD) /合計

航空券代： 50000 (YEN) /合計

ビザ申請関連費： 11900 (YEN) /合計

その他（宿舍及びキャンパス内のインターネット費用・光熱費等）：1200 (TWD) /合計

ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

「はい」の場合、いくらの残高証明書を作成しましたか？500,000 (YEN) /合計

2月下旬：派遣交換留学が決定

3月中旬：神奈川大学に対する書類作成や日程の確認

4月上旬：現地大学の Declaration Form を提出、入学許可証の受け取り

6月中旬：寮の希望申請、緊急時連絡先提出、現地大学に関する情報が掲載された情報誌の受け取り

7月中旬から下旬：航空券の予約、健康診断

8月中旬：現地寮の寮費の支払い（国際送金）、ビザの申請及び受け取り（即日も可能）

上記が留学に至るまでのタイムスケジュールです。出発前の準備として2月頃から就職活動と並行して少しずつ準備を始めました。生活するためのお金を工面するために2月からはバイトの数を増やす事はできないので、なるべく出費を減らすために外食を控えたり飲み会には参加しないことを徹底しました。現地の生活水準や大学の周辺施設などの調べから貯蓄すべき金額は判明していたのでさほど苦労はしませんでした。就職活動を終了した7月中旬には現地の生活で困らないように独学で最低限の言葉を覚えることを始めました。

### 1.2. 渡航について

帰省先の沖縄からの出国のため、那覇国際空港から桃園国際空港に移動しました。大学からの送迎はありません。桃園国際空港から台北駅には MRT（地下鉄）、バス、タクシーなどの選択肢がありますが全長 180cm の大きい荷物があったので MRT は使えずバス（約 500 円）を利用しました。その後、現地のタクシーのドライバーと相談の上、メーター制のタクシーに乗り込み寮に移動しました。

## 2. 到着後の手続きについて

### 2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

9/2 に入寮しました。アジア、ヨーロッパ、アメリカなど様々な国から来た学生が一気に押し寄せるため入居手続きには時間が予想以上に掛かります。その場で契約書を書いたり、部屋の状況を確認することなど何度もラウンジと部屋を往復することになります。わからないことがあれば、周りにいる同じ立場の学生に聞いたほうがスタッフに尋ねるより何倍も早いです。契約書の書く記載点や金額の通貨計算など分かりづらい部分は特に写し取るようにした方がオススメです。なお、寮（ShuiYuan Dorm）は男女で分かれており A 棟は女性用、B 棟は男性用、C 棟はシェアハウス型で男女共用（東側と西側で分かれている）になっています。

### 2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

滞在許可・外国人登録に関してはビザ毎に必要なかが分かれます。私が取得した Visiter Visa(停留ビザ)の場合は不要です。もし移民省に足を運んでも「貴方には発行不要ですから発行することは出来ません」と言われます。Residence Visa(居留ビザ)の場合は反対に 14 日以内の申請が必要です。そして、申請後、7 日以内には ARC カードの受け取りが可能となります。

### 2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

9/2 の入寮手続きから 1 週間の間に学生登録、オリエンテーション、プレイスメントテストの順番に学内手続きが開始されます。学生登録では、流れ作業的に必要書類の提出を求められます。手続き時間も国ごとによります（日本人は 9:00~9:30 の間）。そして、そこで初めて学生証を受け取ることができます。この学生証を提示すると、学内のコンビニエンスストアや売店でアルコールを除く商品が 10% 引きになるので凄く便利です。オリエンテーションでは台湾大学に来た全留学生を集めて 1 時間ほどの学校説明などをしてもらえます。歓迎パーティのようなものは無いので期待しない方が良いでしょう。最後にプレイスメントテストですが、中国語に関するプレイスメントテストがあり、これは中国語を習ったことのない人でも受ける事はできます（私がそうでした）。これを逃すと中国語を学習する授業が履修出来なくなるので注意が必要です。

## 3. 目標について

### 3.1. 留学の目的、達成目標

私は沖縄という小さな島から日本本土と拠点を移し、マレーシアにも留学して視野を広げつつ国際感覚を養うことが出来ましたが、隣国の実情を理解せずに暮らしていました。そこでこの留学においては神奈川大学と比較的、学生の多い台湾大学において台湾企業と日本企業の経営比較及び人々の暮らしをインタビューや授業を通じて学ぼうと思います。達成目標としては卒業論文を完成させることが第一と思っております。そのために英語を実用英語検定 2 級(TOEFL ITP 580 点台)、中国語は日常会話レベル (HSK 検定 3 級) 程度のスキルを身につけたいと思っております。

### 3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

留学して3週間経った現在の達成度は約20%程度だと思います。英語のレベルは2年前の留学終了後から語彙力が少しつつ、ヨーロッパ系の生徒とも気軽にコミュニケーション、ディスカッションを持てるようになりました。それに加えて、中国語でも自己紹介やお店での注文に問題がなくなってきました。このまま文法や語彙力を上げて日常会話に発展させるのに3ヶ月はかかるかと思われま。しかし、肝心の卒業論文は先行研究の掘り下げに時間がかかり書き出しに踏み切れません。これからは授業だけでなく、課外の活動や論文においても力を注ごうと思います。

### 3.3. 今月の学習・研修目標

今月の目標は卒業論文全体の10%であるアブストラクトを完成させることと中国語で衣服と食事の注文の際の会話を問題なくこなせるレベルにすることです。1番の問題である **Managing global acquisition** ではチームメンバーと議論し取り上げたケーススタディ (**Danone** と呼ばれる食品を手がけるフランスに本社を構える多国籍企業について) をプレゼンテーションの段階へ押し上げることを課題としています。

## 4. 学修について

### 4.1. 授業時間割

現在の学期	後学期
月	General Chinese Course(8:10~10:00)
火	Enhancing Chinese Course(8:10~10:00), Managing Global Acquisitions and Restructuring(14:20~17:20)
水	General Chinese Course(8:10~10:00), Exploring Taiwan: natural environment and resources(15:30~17:20)
木	Enhancing Chinese Course(8:10~10:00),
金	General Chinese Course(8:10~10:00)
土	No Class
日	不定期に International Companions for Learning において Skype で遠隔授業を行う。

### 4.2. 授業について

General Chinese Course(8:10~10:00)

Enhancing Chinese Course(8:10~10:00),

中国語の授業が2種類どちらも朝の時間帯にあります。規則正しい生活を送れて現地の言葉を使って円滑なコミュニケーションを行う事ができるので、問題はありません。本当に基礎的なピンインから始まり発音練習および単語の学習のみです。授業の理解に問題はありません。

Managing Global Acquisitions and Restructuring (14:20~17:20)

Managing の授業はこれまで習ってきた経営の知識が役に立たず、授業において発言が難しい状況です。知識不足もありますし、能動的に発言するまでには語彙力が欠如していることも感じます。また読み込む論文や記事が膨大な量です。留学前の外国語学部以外の出身者は今の分野の勉強を疎かにせず、自身で探求することが求められます。

#### Exploring Taiwan: natural environment and resources (15:30~17:20)

Exploring Taiwan は台湾の生物や Geology,を中心に台湾の特異性について学ぶ授業ですが、最終的には、授業参加者の出身国に関するプレゼンを3カ国混合のチームで行う必要があります。

#### International Companions for Learning

International Companion for Learning では台湾の小中学校に対してレクチャーを行う授業になっていますが、翌週から始まる為詳しくは分かりません。Skype を通じて遠隔授業を行うようです。

### 4.3. 予習・復習・自習について

#### Managing Global Acquisitions and Restructuring(14:20~17:20)

復習は主に Managing Global の授業を中心に取り組んでいます。予習では授業についていけるように先生から出題された授業内課題に対しての言葉の意味や参考記事を調べたり、自分の意見を事前に考えておく必要があります。特に、授業で使われるマッキンゼーやJP モルガンの国際企業の M&A が与える影響予測に関するレポートを読まされた時は気が狂いそうでした。読んでも理解が難しいので、机の隅に置いたままです。復習においては他の生徒が発言した内容を掘り下げて、どのような政治的要因または経済的要因などを調べ併合、合併や買収に動いたのかを考えます。

#### General Chinese Course (8:10~10:00)

#### Enhancing Chinese Course (8:10~10:00),

特に問題なくすぐに片付くので1日2時間程度中国語の自習に取り組んでいます。

#### Exploring Taiwan: natural environment and resources(15:30~17:20)

授業の内容をしっかりと聞いていれば特に予習や復習をする必要がなく、楽しく過ごせます。台湾の生態系や環境資源は日本で聞いてもあまり耳に入らない内容ですが、現地においては何よりも興味がわく分野です。今度動物園に授業の一環として足を運ぶので楽しみです。

#### International Companions for Learning

まだ授業を受けていないため不明です。

## 5. 生活について

### 5.1. 衣食住について

住居	学外寮 (その他: )
----	-------------

衣服は日本ブランドのユニクロなど馴染みある服が多く、問題はありません(ユニクロの海外展開戦略のおかげで値段は2割から3割増しです)。女性の方なら西門(日本の原宿のような所)で安くオシャレな衣服を揃えることができますと思います。食も日本から地理的にも距離が近いことから受け入れやすい物が比較的諸外国と比べて多いです(臭豆腐は別)。八人程の大人数で1テーブルを囲むことも珍しくはありませんし、食べ物をシェアする文化も慣れてしまえば楽しいです。住む場所も基本的に問題はありませんが、入居した際には驚きます。旧居住者が掃除をせずに出て行くのは当たり前なので大変汚いです。住む階によってはゴキブリも出てくるようなので覚悟した方が良いでしょう。それ以外の設備は大変充実しており、ビリヤードや卓球台、ディスペンサーなどが設置されています。

## 5.2. 課外活動について

### 休日の過ごし方

主にサーフィンか勉強をして過ごしています。台湾全てのサーフスポットを開拓することを目標にしているなのでその時点での語学を確認する意味合いでもサーフインは役に立っています。なお、旅行らしい旅行ではありませんが、地元の人と必ず関わりを持たなければ波乗りはできないのでその点で楽しんでおります。

### サークル活動

サークルは日台交流会と潜水社 (diving club) に所属しています。両方とも1ヶ月に1度アクティビティがあるかどうかの緩いサークルなので自分のペースで動くことができます。

## 5.3. 現在までの感想

私は現在4年生の後期の時点で英語のみで台湾大学に留学しています。7月時点で就職活動を日本で終了して9月に渡航しております。就活が始まった頃から台湾に留学することは決まっていたのですが、自分自身に納得いく場所で就職できるか不安でした。ですが、今振り返ってみると就職活動はそれほど大したことはありませんし、むしろ言葉が通じない異国での生活や授業の方が大変困難です。就職活動と並行して中国語の学習に力を注げば良かったとは思いますが。留学先での学習サポートが手厚く意欲的に学ぼうと思っているため後悔はしていません。。授業も周りの環境も人も自身の母校以上のレベルで、ついていくことに精一杯ですが残り少ない学生生活を台湾で楽しく過ごしていこうと思っています。

以上

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（12月）

所属	経営学部	国際経営	学科 専攻
派遣先大学 (国)	国立台湾大学 (台湾)		
所属プログラム・ 学部・研究科	2019/2020 University-level Incoming Exchange Program		
報告書提出日	2019年12月9日		

## 1. 目標について

### 1.1. 留学の目的、達成目標

私は沖縄という小さな島から日本本土と拠点を移し、マレーシアにも留学して視野を広げつつ国際感覚を養うことが出来ましたが、隣国の実情を理解せずに暮らしていました。そこでこの留学においては神奈川大学と比較的、学生の多い台湾大学において台湾企業と日本企業の経営比較及び人々の暮らしをインタビューや授業を通じて学ぼうと思います。達成目標としては卒業論文を完成させることが第一とっております。そのために英語を実用英語検定2級(TOEFL ITP 580点台)、中国語は日常会話レベル(HSK 検定3級)程度のスキルを身につけたいとっております。

### 1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

先月の目標であった衣服・食事の注文の際の会話をこなすことに関して、留学開始から3ヶ月経った現在達成しました。また、中国語においてのコミュニケーションを自ら投げかけることが出来る様になりましたが、簡単な語彙を用いた会話になってしまう為、会話内容には制限があります。まだまだ学習する必要が有りますが、先月の目標を達成するレベルにまで到達することが出来ました。また、論文に関しては、11月中旬時点でアブストラクトを完成させ、論文を執筆中です。当初目標としていた全体の10%を軽く超えて4割に到達しています。

### 1.3. 今月の学習・研修目標

今後は中国語の語彙の数を500まで伸ばし、現在よりも会話内容に幅を持たせることを目標とします。また、現在取り組んでいる内容を論文に取り込み、年明けまでに完成し提出できる状態にさせることを目標にしています。それらに加えて、MBAを介した学部主宰のセミナーに更に出席することにより国際的な価値観を身につけ、台湾企業の内情や取り巻く環境について学ぶことを目標として常に情報を掴むように友人や大学における情報交換をするように心がけます。

## 2. 学修について

### 2.1. 授業時間割

現在の学期	前学期
月	General Chinese Course(8:10~10:00)
火	Enhancing Chinese Course(8:10~10:00),
水	General Chinese Course(8:10~10:00), Exploring Taiwan: natural environment and resources(15:30~17:20)
木	Enhancing Chinese Course(8:10~10:00),
金	General Chinese Course(8:10~10:00), International Companions for Learning(15:10~15:55)
土	No class
日	No class

### 2.2. 授業について

#### General Chinese Course(8:10~10:00)

前回と違ってピンインなどの基礎的な学習は1日で終了し、現在は文法・語彙・スピーキング・リスニングなど包括的に中国語を学習しています。進度は早く感じられますが、毎日の予習復習を疎かにしなければついていける早さではあります。理解度も日本語学習者であることが幸いし、表記が日本語と違うもののみ注意を払えば、文字を記憶することは容易く、ピンインのみ覚えるだけで良いです。

#### Enhancing Chinese Course(8:10~10:00),

毎回、新しい文法を授業内で記憶させ、皆の前で発表する授業内容になっています。新しい単語も含めてかなりの数を課題や復習内容として与えられるので追いつくことで精一杯の状態です。しかしながら学ぶ内容のどれも日常生活において必要となる内容なので苦とは感じません。前回の報告から難易度が上がりましたが、この授業のお陰で引きこもりにならずに台湾生活を自身の中国語で楽しめていると言っても良いです。

#### Exploring Taiwan: Natural environment and resources (15:30~17:20)

台湾の環境を生物学や地政学を中心に学ぶ授業です。現在、台湾の火山や川、固有種の魚や虫など日本や他の国にはないものに触れて大変刺激を受けています。先週にはフィールドトリップとして台北動物園に通常公開されていない絶滅危惧種の展示を見学しに行ったり、動物の捕獲方法などの説明を受けるなどの日本の大学授業では有りえない授業があり興味が尽きないです。

(台北動物園へフィールドトリップに行った際の写真)

#### Internatinal Companions for Learning

この授業では台湾の小中学校に対して Skype を通してレクチャーを行う授業になっています。私が担当する Baolai 中学校は高雄の建山の山間部分に位置しておりとても離れています。その中学校は台湾先住民族の子たちが多く在籍し、台湾も多民族で成り立っている国だと気づかされます。私は主に日本人として日本の文化や歴史を英語で教えていますが、英語を理解する生徒が居ないため拙い中国語とパートナーに通訳をしてもらって授業を行なっています。

### 2.3. 予習・復習・自習について

#### General Chinese Course(8:10~10:00)

ピンインの矯正のため台湾人の友人に頼んで言語交換、単語の暗記や授業の予習復習を行っています。(30分ほど)

#### Enhancing Chinese Course(8:10~10:00)

毎授業のボリュームが大きいため予習復習は欠かせません。単位はそこまで多くなくとも、生活に直結する授業のため毎回の授業を必死でこなします。なお、課題は慣れない単語にピンインを振る作業もあるため比較的時間がかかります。(2時間)

#### Exploring Taiwan: natural environment and resources (15:30~17:20)

授業の内容をしっかりと聞いていけば特に予習や復習をする必要がありません。台湾の生態系や環境資源は日本で聞いてもあまり耳に入らない内容ですが、現地においては何よりも興味がわく分野です。自身の足で台湾の自然に因んだ場所を訪れてレポートを提出する課題が課されましたので、タロコ国立公園に友人と訪れる予定です。

#### International Companions for Learning

生徒たちに教える内容を考えパワーポイントに落とし込むのに毎回3時間程度はかかります。それに加えて生徒たちと会話をするのに中国語を学ばなければいけないので全ての授業の予習はこの授業のためにあると言えます。

### 2.4. 語学力について

#### 英語

以前まで全然問題ないと感じていました。しかし、専門用語を用いる際や複雑な会話をする際に突然言葉が出てこなくなる現象が先月より増えてきました。それにより会話の途中で突然喋れなくなる失語症のように陥ってしまうことが多々あります。この問題に対して今まで以上にインプットの量を増やして現在のアウトプット(会話)に追いつく必要があると考えます。試しに特定の分野のみを限定して学習していきたいと思います。

#### 中国語

前回の近況報告書を作成した際には一切中国語が読めず、飲食店で注文するには必ず英語のメニューがあるかを聞いていました。しかしながら、今では簡単な会話はこなせるようになったためその必要もなくなってきました。ですが、フランクな会話をするにはまだまだ学習が必要で単語の記憶が必要だと感じます。そこで現在取り組んでいる授業内のみの学習のみならず、言語学習パートナーに相談して単語暗記により一層取り組んでいきたいと思います。

## 3. 生活について

### 3.1. 衣食住について

住居	学外寮(その他: )
----	------------

私が住んでいる学外寮の周りは飲食店で栄えており、和・洋・中、そして台湾料理など全ての飲食が揃っています。しかし、朝の時間帯に開店している飲食店の数は少なく、朝に授業がある私は基本的に学内にある"小小福"と呼ばれる朝ご飯屋さんで朝食を取ります。授業中でも飲食が許されているので学習しながら、口に物を運びます。睡眠学習ならぬ食事学習というものです。このように食に恵まれている環境ですが、更に美味しいものを求めて地下鉄やバスに乗って晩ご飯を食べに出かけることも多々あり



ます。臭豆腐は先週、2ヶ月ぶりに食べてみましたが臭いが強いだけで味は美味しく感じられました。現地適応化の成果です。ちなみに、12月現在の気温は平均17℃近くで推移しており半袖のみで移動することが厳しくなってきました。暖房設備が大学の教室・寮内にもないため寒く感じたら服を着重ねる必要があります。

### 3.2. 課外活動について

授業後は主に大学キャンパス内にあるジムに通い体型維持と体重を減らすために授業後毎日通っています。筋トレを始めて2ヶ月ほど経ちますが体重は4kg減、体脂肪率は5%減りました。ジムで一緒にトレーニングを行う仲間にも恵まれ偶にトレーニング後には一緒にお昼ご飯を食べに出かけることもあります。アクティビティは月に2回程MBAの友達と共に体育館の施設を借りてバドミントンをします。以上のように平日の日中は主に体を動かすことを行なっています。週末はその時々によって異なりますが、台湾中を日帰りで旅行しています。台中・高雄・宜蘭や九份など主要な場所は既に訪れたことがあるのでこれからは文化や歴史を感じるような観光名所を中心に訪れたいと考えております。そして、不定期ですが、MBAを専攻する友達に誘われて企業のセミナーに参加することもあります。一番記憶に残っているのは悠遊カードと呼ばれる交通系ICカードを販売及び運営するEASY CARD CORP.による講演でした。日本のSuicaとは違い積極的に外部での展開を主に力をいれている点や会社の強みや今後の展開などが予測でき、非常に有意義な時間を過ごすことができました。

### 3.3. 現在までの感想

留学生活も残り1ヶ月になって、今までの生活を振り返ってみると、勉強をしておけば良かったの一言に尽きます。中国語だけでなく、英語も、専門科目の経営学も突き詰めておけば、今以上に楽しい留学生活になったと思います。また、私は出来ない理由を作ることにかけているなどと思います。サークル活動に参加したいけれど企業の研修日と被った為参加することが出来ないことを述べたり、どうせ続かないからと言って一回切りグループ活動に参加して諦めてしまったりと多々あります。心に余裕がなかったことが一番の原因だと思います。ですが、何も残せていない現状を変えるべく最後の一踏ん張りとして語学だけでなく外部との交流に力を注ぎ、得難い経験を積み上げたいと思います。そして、出来ない理由の一つになっていた就職活動は台湾に来て気持ちもぶれる事なく、内定を頂いた企業に就職することを考えております。残りの生活を悔いを残さないように励みます。

以上

## 神奈川県立大学派遣交換留学修了報告書

所 属	経営学部	学 科	国際経営学科	4 年次
派遣先大学 (国)	国立台湾大学 (台湾)			
所属プログラム・ 学部・研究科	2019/2020 University-level Incoming Exchange Program	履修言語	英語	
留学期間	2019年9月～2020年1月			
報告書提出日	2020年2月15日			

### 1. 学修について

#### 1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録するまでの過程
1st Semester	9月2日 ～1月10日 (15週)	1月6日 ～1月10日	授業開始期間の1ヶ月前から授業履修期間がスタートし、全ての授業が抽選で履修できる。その抽選も2回に分けられて行われる。授業開始後も3週間は履修希望の授業に参加し、担当講師との相談の上で、オンラインにて履修ができる権利を獲得できる。その間は履修の加除は可能。更に、1セメスターに一つの授業のみ履修の取りやめをいつでも行う事ができる。

#### 1.2. 履修科目・内容

学期	履修科目名	合計時間	履修内容・授業での取り組み
		(内訳)	
1st Semester	Exploring Taiwan: natural environment and resources	28時間	講義は毎週水曜日の15:30から17:20までの約2時間。内容としては台湾に生息する動植物たちや地理学を用いた台湾の成り立ちに関することである。中間試験はなく、期末試験はあった。グループプロジェクト、記述式試験、レポートの3点で総合的に判断される。それらの勉強として授業後2時間程度は勉強していた。なお、二つのフィールドトリップに参加することと自身で計画したフィールドトリップは必須。
×	2(時間/回)	1(回/週)	
		×	14(週)

1st Semester	General Chinese Language Course (I)	108 時間	講義は毎週月、水、金曜日の 8:10 から 10:00 までの約 2 時間。それぞれの曜日ごとにスピーキング、リーディング、リスニングに分けて学習する。内容としては初学者に向けて台湾で生活できるレベルの中国語を勉強していた。中間試験・期末試験の勉強としては日頃の授業で学んだ内容の復習を日頃コツコツ行なった。レポートはなし。
		2(時間/回) × 3(回/週) × 18(週)	
1st Semester	Chinese Enhancing Course (I)	72 時間	講義は毎週火、木曜日の 8:10 から 10:00 までの約 2 時間。内容としては中国語の文法・語彙を中心に身の回りにあるものを簡単な言葉で説明することであった。中間試験・期末試験はないが、毎回の授業の終わりに学習した内容を用いて短い時間スピーチすることがあった。レポートはなし。
		2(時間/回) × 2(回/週) × 18(週)	
1st Semester	International Companions for Learning	30 時間	講義は初めの 1 週目のみ水曜日 120 分、それ以降は金曜日に 120 分ほどの講義が行われた。内容は地方の小中学生に対する遠隔的な異文化間交流に関すること。中間試験・期末試験はなし。レポートは毎授業後パートナーと協力して交流の際に教えたこと、学んだことを書く。最低一つのフィールドトリップには参加必須。
		2 (時間/回) × 1(回/週) × 15(週)	
1st Semester	Managing Global Acquisitions and Restructuring	51 時間	講義は毎週火曜日の 14:20 から 17:20 までの約 3 時間。内容は国際企業のケースを用いた買収及び合併に関するものである。中間試験・期末試験等はないが、facebook を通じてディスカッションを行う小テストのようなものがある。なお、グループワークにてプレゼンや資料作りなど様々な課題が与えられる。レポートあり。
		3(時間/回) × 1(回/週) × 17(週)	

### 1.3. 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について

学習する上で心がけていたのは授業後にわからない部分が出れば教室にそのまま残り、講師に質問を続けることである。講師の方々は基本的にオフィスアワーというものは設けていないためメールによる対応しかなかった。そこで先生達の授業日程を事前に把握し、質問しても問題の無いように配慮した。その結果、復習する際に一人ではつまづきそうな部分や、予習にて困りそうな部分を事前に無くす事ができた。また、中国語の場合は声調や発音が大事であるため、授業後音声や口の動きなど携帯を使って録画、録音していた。

#### 1.4. 語学力について

語学力に関して、二つの言語、英語と中国語共に上がったと思う。英語は留学前から日常的に使用していた言語のため意思伝達に問題はなかった。更に、日常での生活だけでなく大学の授業やグループワークにおいて話していた言語なので専門用語や独特な言い回しの幅が広まったと感じる。しかし、リスニング能力に関しては未だにネイティブスピーカーが話す速度に追いついていないため努力不足も感じている。中国語の場合留学前に挨拶程度の能力しか無かったため、到着後英語にのみ頼って生活していた。中国語が分からないコンプレックスから始めの1ヶ月は大学の外に出ることを大変躊躇っていた。だが、留学した目的を思い出し授業や自習に力を注いだ結果、台東に一人で旅に出かけた際に値引き交渉や談笑など拙いながらもできるようになった。2回目の近況報告時に設定した HSK3 級程度の語学力の習得という目標には届かなかったが帰国後も引き続き勉学に勤しもうと思う。

## 2. 留学の成果を振り返って

### 2.1. 学修の成果

中国語学習と台湾の文化に触れ合うことによって中華圏における物事の考え方や姿勢を理解した。留学前にはなぜ中国人観光客がどのような場面においても声を荒げて会話するのか理解できなかった。だが、言語を学習し、かつ彼らの立場になった時に彼らは相手に自身の意図を正しく伝えるためにピンインを強調していること気付いた。その後、日頃の授業で用いられる語句の発音や声調を意識し学習することによって、簡単な語彙を用いたコミュニケーションが可能になった。自分自身を鼓舞し、学習に対する意欲がなければ成せなかったことである。次に、卒業論文において日本と台湾における自転車共同利用システムの比較を行い、市と運営会社に対してアプローチした事が良い経験となった。留学という自分自身に気づきや学びを与えられる環境において時間管理を行いながら課題に勤しんだことは仕事の姿勢にも生きてくると思う。最後に授業におけるグループワークは初めて会う人とチームを組み意見を衝突させたことによって、物事を俯瞰的に考え意思を伝える能力が向上したと思う。神奈川大学内でグループワークを行う授業はあったが、留学生が多数になったことは少なく、意見の衝突はほぼ無かった。それとは反対に、台湾大学の授業においてはこれまでのように消極的な人の数が減り、ディスカッションの場では意見の衝突が多かった。だが、文化ごとの考えの違いや表現の違いを感じ建設的な議論を重ね、相手の意見を汲み取り自分の意見も主張する力もついた。帰国後、卒業後も積極的にこのような機会に参加し生きていこうと思う。

### 2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス

学修面での反省点は主に2点挙げられる。準備と積極性である。留学前の時期に就活やインターンが重なり事前に必要な下調べや言語学習、卒業論文の作成が遅れた。特に言語学習に関しては初学者が行うべき基本的な単語の学習すら怠っていたため留学1ヶ月目の時点で、精神面において大きく遅れを取った。学習言語を英語にしたからと言って現地の人全員が喋れるとは限らないことを失念していた。二つ目の積極性に関して、1度目の留学であったマレーシアは親日国であるため自分自身が明るい性格であれば友達やパートナーはできたが、母国語が英語とは違う国においてそれは叶わなかった。それに気付いてからは、現地の人と行動するよりも留学生と行動する事が増えていた。日本において留学生の生活サポートを行っていたが、彼らの気持ちを1年遅れで知った。今なら、その当時の彼らに最適なサポートを行う事ができたであろうと反省している。

### 2.3. 留学生活で得られたもの

留学生活において得られたものは危機管理能力と寛容さ、優しさである。危機管理能力に関しては、食や交通ルール、犯罪など生死に直面するものが特に身についたと思う。食の場合は、体に合う食材や合わない食材がどの料理に含まれているかどうかで翌日の身体のコンドディションが左右されることに気づき食すかどうかの判断ができるようになった。他にも、交通ルールが日本とは違い右側通行なので、注意を怠ると危ない事がたまにある。当たり前だが右見て左を見て、道路を渡る事を習慣にしたおかげで台湾大学での生活で事故に巻き込まれる事なく済んだ。実際に目の前で私の友人がバイクによる衝突事故を起こしたのを目撃していることも危機に対して警戒感が高まった要因の一つだと思う。寛容さと優しさは台湾というお国柄のお陰だと思う。歩道を走るバイク、リードを付けずに散歩する人たち、路上に痰を吐くおじさんなどマナー違反の人々がいるが、街中を歩く人々は全く気にしていなかった。実際に己自身に害が及ばなければ何をやっても構わないスタンスであると感じた。しかし、法のもとで禁止されている駅での飲食などはお互いに注意し合う光景も見た。私はこの文化に感激し、私も日本で多様な考えに理解を示し、他者に優しさを与えられる人になりたいと、人として成長したように感じた。

### 2.4. 留学生活での反省点ならびに留学志望者へ生活面のアドバイス

そもそも留学は1年かそれ以上の準備期間が必要である。事前に計画することが求められる。だが、行きたいと思うなら、まずはやってみることが大事だと思う。その思い切りが恐らく一番大事である。決めたら、留学した先輩に沢山話を聞き、それに加えて語学の勉強をしてその時期に備えておくことをお勧めする。応募条件の英語力は最低条件で、現地ではより高度な英語運用能力が必要になる可能性が高いので、英語で考え話す習慣を持っていると良いと思う。また、留学でどんな経験を得られるかは、その人次第ということはあると思う。良い機会なので、日本人と固まることなく、少しハードな目標を立てて、挑戦し続けられれば、自然と自分自身の本質に気づけると思う。留学がスタートして最初は何をすればいいのかわからないはずだが、とにかく外に出て、人と話し、アクティビティに積極的に関わる中で、自分に合った目標が見つかると思う。

## 派遣交換留学中の生活等に関する調査

国際センター

記入年月日：2020年2月14日

所 属	経営学部	国際経営学科	4 年次
派遣先大学	国立台湾大学		5 ヶ月間

### I. 留学先での住居について

1	住居形態は 何でしたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ( )
2	住居形態の詳細を教えてください。	一人、8畳シャワーあり
3	入居時手続き	学生寮受付で初期費用を精算、鍵を受け取る
4	費用 (月額)	80000 (¥ ) (食費 食費含む/月)
5	支払方法	月ごとに現金で
6	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input type="checkbox"/> トイレ(共同) <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(個別) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(共同) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房 <input type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input checked="" type="checkbox"/> 乾燥機 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (ビリヤード、卓球 )
7	住居選択方法	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前に申込 <input type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> その他 ( )
8	周囲環境	歩いて3分の距離にセブンイレブンがあり、10分でキャンパス
9	アクセス	大学からの距離は400mほど、台湾大学最寄りの駅及びバス停から10分圏内
10	留学中の住居に関して アドバイス	シェア式の学内寮をとった方が良い

### II. 通信環境について

1	日本キャリアの携帯電話	持参した
2	現地キャリアの携帯電話	現地でSIMカードを購入
3	現地携帯電話の取得手続きの方法	寮に情報通信会社がやってくるのでその場でSIMを購入
4	自宅のインターネット接続環境	有線 (大学または寮へのLAN接続)
5	大学内インターネット接続環境	無線 (大学または寮へのLAN接続)

### III. 留学費用について

諸経費 (1ヶ月の平均)		
1	宿舍費	13500 (TWD ) /月
2	食費	10000 (TWD ) /月
3	交通費	500 (TWD ) /月
4	通信費	240 (TWD ) /月
5	娯楽費	3000 (TWD ) /月
6	図書費	1000 (TWD) /合計
7	学用品 (教科書など)	1500 (TWD) /合計
8	被服費	1000 (TWD) /合計

9	医療費	200 (TWD) /合計
10	雑費・その他	500 (TWD) /合計
上記以外にかかった大きな金額の内訳 (留学準備期間含む)		
11	出願料・宿舎デポジット	14800 (TWD) /合計
12	ビザ申請関連費	11900 (YEN) /合計
13	航空券代	50000 (YEN) /往復
14	留学全日程に要した総額 (概算)	618,375 (YEN) /合計
お金の持って行き方		
15	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 (渡航時 : 50000 円) <input checked="" type="checkbox"/> 国際キャッシュカード (銀行名 : SBI ネット銀行) <input type="checkbox"/> 海外送金 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
16	現地で銀行口座開設	してない
17	お金に関するアドバイス	2回予算を組んで下さい。1度目は渡航前、2回目は渡航1ヶ月後です。金銭感覚を現地の人と同じにしましょう。

#### IV. 保険・医療について

1	海外旅行 (留学) 保険の種類	B19 (5 か月分で 53820 円)
2	留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか?	はい
3	海外旅行 (留学) 保険の適用を受けましたか?	受けなかった
4	日本から持参した方が良かったなと思う薬などはありますか? 理由はなんですか?	胃薬、風邪薬 (台湾は漢方の方が重視される傾向があるため)

#### V. 持ち物について

1	日本から持っていったもの
パソコン、携帯電話、衣類 (5 日分)、タオル、本数冊、洗面道具セット	
2	現地で購入したもの
衣類数点、教科書、マットレス、ブランケット	
3	(自分は持っていかなかったが) 日本から持っていったら便利だと思ったもの
特になし	

#### VI. 留学先で困ったこと

キャンパスから一歩出ると英語が伝わらないことが多い。見た目がアジア人のため第一声が中国語である。台北市は比較的英語を喋れる人が多いが、それ以外の都市は難しい。

#### VII. その他、後続の学生へのアドバイス

この大学では英語で行われる授業を受ける場合でも、中国語を喋れた上で渡航することをオススメします。現地大学で英語の授業を受けながら、中国語を習得することはメリットが多いです。例えば、他の留学生も同じような問題でつまづくのでその傾向と対策が立てられたり、聞く事ができるなどです。ですが、一からの言語学習は簡単ではありません。他の授業とのバランスをとる事が難しく、その調整が大変困難です。もし、英語を用いて中国語圏やスペイン語圏などの大学に行く際には是非少しでも学んだ上で行って下さい。